

平成26年度 第1回 珠洲市入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所		平成26年6月20日（金）午前9時～11時 庁舎3階会議室	
出席委員		大兼政 忠男（監査委員） 出席 委員長 櫻井 信義（公平委員） 出席 吉田 俊夫（監査委員） 出席 （敬称略 五十音順）	
次第		1 開 会 2 挨 拶 3 議 事 （1）珠洲市入札契約制度について （2）審議対象工事の抽出結果の報告 （3）審議対象工事の審議 （4）その他 4 閉 会	
審議対象期間		平成25年10月1日～平成26年3月31日	
抽出件数		6件	
建設工事等	一般競争入札	2件	・（仮称）きのうら荘建設工事 管理棟（建築） ・珠洲温泉鶴飼4号源泉 修繕工事
	指名競争入札	3件	・大谷消防センター外壁塗替工事 ・珠洲市バイオマスメタン発酵施設機械棟ポンプ設備修繕工事 ・珠洲消防庁舎建設工事（訓練スペース造成）
	随意契約	1件	・珠洲消防庁舎建設工事に伴う監理業務
委員からの質問及びそれに対する回答等		別紙1の通り	
委員会による意見の具申内容		具申なし	

別紙 1

質問・意見	回答
・珠洲市入札契約制度について ・ 予定価格の根拠は？ ・ 入札結果を見れば、最低制限価格と同額の応札もあれば、下回る応札もあるが理由は？ ・（仮称）きのうら荘建設工事 管理棟（建築）【一般競争入札】 ・ 入札不調があった案件と聞いているが、経緯を教えてほしい。 ・ 入札不調となった理由はどう考えるか？ ・ 応札者が 1 者だけであるが問題はなかったのか？ ・珠洲温泉鶴飼 4 号源泉 修繕工事【一般競争入札】	・ 設計価格を予定価格としている。 ・ 最低制限価格は事後公表となっているが、算定式は公表しており、ある程度の予想は立てられるが、端数処理等の関係で業者によって異なるのではないかと考える。 ・ 1 回目は地域要件を奥能登土木事務所管内としていたが、入札参加者がおらず不調となっている。2 回目は地域要件を石川県内に拡大したが、同じく入札参加者がおらず不調となった。今回案件は 3 回目となり、設計内容を見直し、地域要件を 1 回目に戻して行ったところ、落札となったものである。 ・ 東日本大震災の影響、消費税増税前の駆け込み需要、アベノミクスによる公共工事の増加、これらのことが重なったため、資材費や人件費が高騰し、市場価格と積算基準単価に差が生じたために起こったものと考えている。 ・ 指名競争入札においては 2 者以上の応札者がなければ入札不調となるが、一般競争入札は参加者を募集する形であり、1 者でも入札は執行できる。

・入札取り止めになったと聞いているが経緯を教えてほしい？ ・大谷消防センター外壁塗替工事【指名競争入札】 ・外壁塗替工事であるが、建築一式工事業者が対象となるのか？ ・珠洲市バイオマスメタン発酵施設機械棟ポンプ設備修繕工事【指名競争入札】 ・特殊な施設であり、管理業務を行っている業者との1者随意契約という要素はなかったのか？ ・珠洲消防庁舎建設工事(訓練スペース造成)【指名競争入札】 ・2者が入札参加条件により辞退となっているが理由は？ ・くじ引きの手順は？	・入札参加資格要件である技術者要件の表現に一部誤解を招く表現があったため、公正な入札が出来ないと判断し取り止めたものである。本案件は取り止め後の2回目となるものである。 ・外壁塗替だけでなく、軒下やシャッター等の一部修繕もあることから、建築一式工事となる。 ・工事の内容として、管理業務を行っている業者以外でも施工可能と判断したため、指名競争入札となったものである。 ・この案件は、先の案件で落札したものが次の入札に参加できないものとなっている。本案件は入札順で3番目となっており、先の2つの案件で落札した業者が入札条件により辞退となっている。 ・くじ棒による抽選を行っている。手順としては、まず予備抽選を行い本抽選の順番を決める。予備抽選を引く順番は五十音順としている。次に予備抽選の順番に従い本抽選のくじを引いてもらい、落札の棒を引かれた業者が落札となる。
--	---

・珠洲消防庁舎建設工事に伴う監理業務【随意契約】 ・落札率が高い理由は？ ・その他	・この業務は予定価格の段階で、設計価格に実施設計業務の請負率を掛けているものを採用し、予定価格としているため、実際の落札率はそれほど高くない。 ・次回において、第 6 条の抽出委員は、大兼政委員に決定する。
--	---